

# 令和7年度 学校安全優良校審査資料

ふりがな 学校名	とよはしりつ とくべつしえんがっこう 豊橋市立くすのき特別支援学校		
所在地	〒441-8124 豊橋市野依町字上ノ山3番地の2		
ふりがな 校長名	すぎやま ふみこ 杉山 富美子	電話番号	0532-29-7660
メールアドレス	kusunoki-s@toyohashi.ed.jp	ファックス番号	0532-25-1007

## 1 学校の概要（人数及び学級数は、令和7年5月1日現在）

教職員数	145人				
学級数	56学級				
幼児児童生徒数	302人				
管理下の 重大事故		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	死亡事故	0件	0件	0件	0件
	障害事故	0件	0件	0件	0件
過去の 表彰受賞歴	なし				

## 2 学校安全に関する特色ある取組や研究実践

令和6年度、現職研修の一環として「防災教育指導者研修会（愛知県教育委員会主催）」の伝達講習を実施した。その中で、これまでの地震避難訓練の在り方を見直す重要性に気付き、より実践的で柔軟な対応力を育てる訓練の必要性を再認識した。

本校ではこれまで、地震発生を想定した訓練の際、緊急地震速報を放送し、安全な場所（机の下や物が落下してこない場所）へ移動して「だんごむしのポーズ」をとって身を守る行動を行ってきた。そして安全が確認された後は、体育館や運動場等へ避難する訓練方法が定着していた。

しかし、伝達講習では、過去の大地震を通じて以下のような現状が示された。

- ・余震、停電、避難経路の破損、傷病者の発生など、複合的な事態が多く起きていた。
- ・新耐震基準で整備された校舎の倒壊はゼロであった。
- ・体育館や運動場が使用できず、集合場所に避難できないケースがあった。

この現実を踏まえ、従来の訓練方法では対応しきれない可能性があることが浮き彫りになった。そこで令和7年5月には、これらの課題を盛り込み、余震が継続することを想定したより実践的な避難訓練を実施した。想定された手順どおりの訓練ではなく、教職員が個々に状況判断と柔軟な対応ができるかどうかを確認することを目的とし、従来とは異なる計画での訓練となった。

地震発生を想定した場面は授業中であったため、多くの学級で教室や廊下、特別教室などへ避難する対応が行われた。今回は放送機器を使用できたことで、各学級からの内線電話で避難状況の報告もあり、状況の把握が進んだ。一方で、内線電話が混み合い本部に連絡が難しくなったため、直接本部に出向いて報告する職員も見受けられた。今後は、内線の混雑や内線が使用できない状況に備えた連絡手段の整備や、緊急時における情報共有の効率化を図る必要があると考えられた。また、今回は全校児童生徒が一か所に集まることなく、各々の場所で安全確保をしていたことから、一部職員が周囲の状況の把握ができないことに不安を感じていた。

今後は、訓練の振り返りと反省をもとに、10月に実施予定の2回目の訓練では改善を加え、より安全で効果的な防災行動が定着するよう努めていく。

### 3 学校安全に関する取組

#### (1) 安全教育について

##### ○地震避難訓練…資料1

- ・5月と10月の年間2回実施している。5月の第1回は大規模地震を想定した避難訓練を実施した。事前学習で児童生徒に校舎が倒壊する恐れがないことを伝え、大規模地震を想定した余震と本震がある想定で実践的に行った。また、今回初めて避難する場所を校舎内に設定し、全校で集まることは行わなかった。
- ・10月の2回目の訓練では、第1回目の内容の反省を踏まえて、安全を確保した後に、全校で一か所に集まって避難する計画である。また、体験的な活動を重視し、消防署と連携して起震車体験と煙体験も実施する予定である。

##### ○交通安全指導（交通安全教室）…資料2-1小、資料2-2中、資料2-3高普、資料2-4産

- ・小学部児童：基本的な交通ルールや安全な横断歩道の渡り方について、本校生徒指導部による講話を実施している。講話の後、校内に設置した模擬横断歩道と、タブレット端末に表示される信号機を使用し、実際に横断歩道を渡る学習を行っている。
- ・中学部生徒：歩行者としての基本的な交通ルールについて学習した後、校外に出て歩道の歩き方や安全な横断の方法について体験的に学習している。
- ・高等部普通科生徒：各学級で事前に横断歩道の渡り方を学習した後、校外に出て、歩道の歩き方や横断歩道の渡り方を実際に確認している。
- ・高等部産業科生徒：産業科の全ての生徒は自力通学をしており、自転車を利用する生徒も多い。そこで、近隣の自動車学校の職員を講師として招き、自転車の運転シミュレーションを実施し、自動車や歩行者に対しての危険を予測する運転を学習している。

##### ○シェイクアウト訓練（あいちシェイクアウト訓練に参加）…資料3

- ・全校児童生徒は、月に1回、地震を想定した短時間の訓練を行っている。事前に時刻は知らせず、訓練の緊急地震速報が放送で流れると、安全確保行動（姿勢を低くする、頭を守る、動かない）を即座に取るようにしている。継続して実施することで、児童生徒は大きな混乱を示すことなく、安全に行動することができるようになっている。

##### ○スマートフォン安全教室…資料4

- ・外部講師を招き、高等部産業科生徒と参加を希望する保護者にスマートフォン（携帯電話）の使用についての講話を行っている。
- ・主にトラブル事例（誹謗中傷の書き込みによる被害、不用意な位置情報共有による居場所の特定、違法アップロードによる法的な問題、迷惑動画や危険行為の拡散による炎上等）

が内容の中心である。保護者にも受講していただくことで、家庭での適切なスマホ利用についての啓発にもつながっている。

#### ○浸水疑似体験映像（VR）と防災出前講座…資料5

- ・外部講師を招き、令和7年度に初めて行った取組である。高等部産業科生徒が水害から「自分の命は自分で守る」ことを学習することを目的として実施した。過去の水害事例について学んだ後、VRによる浸水の疑似体験を行った。まとめとして防災クイズを行い、避難行動や事前の備えについて体験的に学ぶことができた。

#### ○不審者対応訓練…資料6

- ・毎年度始めに校内の防災機器の使用方法について全職員で確認している。不審者対応マニュアルを活用して、不審者侵入時の対応について全職員で共通理解を図った。さすまたの保管場所と使用方法を確認し、代用品の使用方法についても紹介した。
- ・昨年度に各教室に設置した簡易なドア鍵の内鍵を活用し、侵入者を教室に入れないようにする対応を改めて徹底した。

#### ○搜索訓練…資料7

- ・年度始めの春季休業中に全職員で行っている。全職員で搜索マニュアルを事前に確認し上で、児童生徒が行方不明になった場合を想定した訓練を実施した。
- ・訓練では、授業中に校外へ出て行ってしまった児童生徒役を教員が演じ、全職員で実際に各担当に分かれて一次搜索から二次搜索までの一連の対応を行い、実践的な手順の確認と対応力の向上を図った。

#### ○緊急対応訓練…資料8

- ・養護教諭と栄養教諭より、本校の緊急時の対応と、食物アレルギーに関する基本的な知識や給食時の対応について説明し、教職員間で共通理解を図った。また、エピペンの使用方法についての実演を交えた指導があり、練習用のエピペントレーナーを用いて教職員同士で実践的な訓練を行った。
- ・さらに、緊急対応が必要な児童生徒に関する情報共有も行き、迅速かつ適切な対応ができる体制づくりを進めた。

#### ○心肺蘇生法実技講習会…資料9

- ・外部講師を招いて、全職員と高等部産業科生徒が心肺蘇生用人形を使用して、心肺蘇生やAEDの正しい方法について実践を通して学んでいる。
- ・毎年実施することで、新しい知識がアップデートされるとともに、各職員が心肺蘇生の方法にも少しずつ慣れてきている。

#### ○薬物乱用教室…資料10

- ・外部講師を招き、高等部の全ての生徒が薬物乱用の危険性や薬の服用方法について学べるように機会を設けている。普通科と産業科で実態に応じて内容を分け、普通科の生徒に身近な服薬を中心とした内容で、産業科の生徒には覚醒剤やオーバードーズ等の内容で講話をしていただいている。

### (2) 安全管理について

#### ○交通安全指導…資料11

- ・春と秋に実施される「全国交通安全運動」に合わせ、各学期始めに登下校時の交通安全指導を行っている。高等部産業科の生徒は全員が自力通学をしており、自転車、徒歩、公共交通機関で登校している。そのため、通学路の各ポイントでの立ち番指導や、電車や路線

バスに同乗して公共のマナーについて指導を行っている。

○災害安全対応

- ・年に2回の防災対策・学校安全委員会を開き、生活安全・交通安全、災害安全についての取組の成果を共有し、今後の課題について検討している。

○豊橋・学校いのちの日（毎年6月18日）…資料12

- ・平成22年6月18日、豊橋市中学校の野外活動中に実施されたカッターボートの転覆事故が発生し、生徒が亡くなるという痛ましい事故が発生した。この痛ましい事故の教訓を忘れないように、豊橋市では毎年6月18日を「豊橋・学校いのちの日」として市を挙げた取組を行っている。
- ・生徒の命日には「学校における安全管理・危機管理」の重要性について改めて振り返り、教職員一人ひとりが安全意識と危機管理意識を高めるため、「危機管理意識チェックリスト」を行い、校長講話を通じて共通理解を図っている。

○安全点検

- ・全職員で分担して毎月一回校内の安全点検を行い、不具合箇所があった場合は点検表に詳しく記入し、修理や修繕をしている。
- ・年3回の学校関係者評価委員会において、学校評議員が校内を巡視し、安全面で注意が必要と思われる箇所についての確認を行っている。

○情報セキュリティ対策

- ・毎月一回、豊橋市の情報セキュリティチェックシートを利用して、情報資産の管理、校務用コンピュータでのデータ管理、インターネット・電子メール使用について安全に活用しているかを全職員に確認している。

(3) 家庭・地域等との連携について

○南稜校区交通安全対策協議会

- ・本校が立地している中学校区にある小中学校と特別支援学校、校区市議会議員、校区の自治会長、PTA、警察（校区駐在）が集まり、交通安全指導の内容や校区の危険箇所の共通理解を年3回行っている。

○一斉下校訓練…資料13

- ・南海トラフ地震に関する臨時情報が出されたことを想定した訓練で、毎年9月に実施している。児童生徒は教室で安全確保行動を行った上で体育館に避難する。保護者に児童生徒の引き渡しになることをメールで伝え、学校に向かえに来てもらっている。
- ・本校は駐車スペースの確保ができないため、各部で時間差により引き渡しを行っている。各職員で業務を分担し、スムーズな引き渡しができるように努めている。

○安否確認訓練

- ・災害や緊急事態が発生した際に、児童生徒や保護者の安全を確認するために、メールによる安否確認を今後実施する予定である。

(4) その他特筆すべき内容

○福祉避難所のマニュアル作成に向けて（豊橋市との連携）…資料14

- ・本年度、豊橋市福祉政策課から、本校の福祉避難所の運営に向けてのマニュアル作成の協力要請があった。
- ・これまで本校は福祉避難所として認定を受けていたが、開設した実績はなく、本校用の避難所運営のマニュアルは作成されていなかった。そして8月には、豊橋市福祉政策課職員を講師とし、本校に備蓄している防災用器具の使用方法和避難所運営のシミュレーション

を含めた避難所運営研修を実施した。

- ・豊橋市としては、本校を「直接避難」が可能な福祉避難所としたい意向である。実際の運営に向けては、本校職員の役割分担を始め、さまざまな懸案事項や課題がある。そのため、今年度話し合いを重ねていく予定である。